

補整具助成

アピアランスケア助成を

具体的な制度設計を検討



中村 忠靖 議員

問 アピアランスケアについての考えは。

町長 がん治療による脱毛や乳房の損失等の外見の変化は、社会生活が困難となる場合もあり「アピアランスケア」は大変重要と認識している。

アピアランスケア

～がん治療に伴う外見ケア～



問 長野県で行われている助成事業の内容は。

町長 昨年4月から、市町村と県が共同し、対象となる補整具等の購入費用の一部を助成する「長野県がん患者へのアピアランスケア助成事業」を実施。これは、ウィッグ等の補整具購入費用の2分の1を、上限2万円を助成するものである。

問 町における費用助成の考えは。

町長 がん患者の苦痛軽減及びその身体・心理・社会問題に対して包括的

な支援は重要と考える。希望する方に対し、助成は必要であり、具体的な制度設計の検討を進めている。

高齢者世帯等のごみ処分

問 ごみ出し困難世帯への対応は。

住民環境課長 介護保険サービスとしての支援のほか、ごみ出しの戸別収集等は、対象世帯や収集体制など課題が多く、環境省のガイドラインや先進事例等を参考に研究していく。



宮入 健誠 議員

問 有害獣に対する今後の対策は。

町長 捕獲対策については、今後、より効率的な捕獲を目指すため、有害獣の動きを感知し、動画を撮影する機器の設置やオ

有害獣

農作物被害への対応は

より効率的な対策を検討

りや罠に有害獣がかかった際にスマートフォンなどに情報が届くシステムなど、ICTを活用した捕獲方法についても検討していきたいと考えている。

防除対策については、地域住民の皆さんに協力いただき、山沿いへの侵入防止柵の設置を推進し、山と人の生活圏を広域的に隔てることにより、有害獣の侵入を防止、農業生産の安定や住民生活を守ることを目的とする。

村上地区は今年度完成する計画とし、南条地区は入横尾区が今年度完成予定で、隣接する区については協議を進め、延伸していく計画である。また、坂城地区については、令和7年度からの設置開始を目指し、現在調整しているが、早期設置に向けて、一年間で複数の区での同時施工も視野に入れながら、今後調整していきたい。



完成間近の有害獣侵入防止柵（網掛地区）